

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡／湯之奥・中山金山 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報

GET GOLD + PLATINUM
砂金採り体験堂で採れる砂金+20%の砂白金!
20th ANNIVERSARY since 1997.4.24
その手で黄金を掴め!!
もーん10さん + 10!!
20%のプラチナをあなたはGETできるか?
9月まで

夏休み特別企画
第9回 化学実験教室 2017 7/16 SUN
第17回 砂金掘り大会 2017 7/29 SAT
第14回 砂金掘り甲子園 2017 7/30 SUN
第17回 こども金山探険隊 2017 8/11 FRI 8/12 SAT

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 THE Yu-no-oku MUSEUM OF GOLD MINING HISTORY
TEL : 0556-36-0015 / FAX : 0556-36-0003

急げエントリー!
砂金掘り大会 開催迫る!!

夏休み期間中は
夏休み自由研究プロジェクト in 金山博物館 随時開催!

続・周年雑感—開館20年を迎える夏に—

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 出月洋文

当館は、平成29（2017）年4月24日に開館20周年を迎えました。このため、本年度の諸行事には大部分について“20th ANNIVERSARY”とか「20周年記念」という冠をかぶせております。

いったい周年などということに何故そんなにこだわるのでしょうか。

そういえばこの『博物館だより』も今号が第80号というキリのよい数字となっています。きっと100号とかであれば記念号として、いろいろな企画・趣向を凝らすことでしょうけれども80号では特段のこだわりはありません。こうした感覚はどこからくるのでしょうか。

初めに触れた20周年については、当館の設立の根っこに当たる湯之奥金山遺跡の最初の調査が平成元年からの総合調査にあります。総合調査の企画検討はその前年に始まっているので、金山遺跡総合調査から30周年ということにもなり、これを受けての国（文化庁）による中山金山遺跡の史跡指定は、当館開館と同じ年の9月2日ですから、こちらも間もなく史跡指定20周年となります。単純にただ数字が大きい方がいいとすれば、30周年を大いに売り出さなければと思い、いくつもある方が賑やかでよいと思えばあれもこれも考えたりします。

人は、誕生の時からその生涯を閉じるまで、様々なアニバーサリーやメモリアルを迎え、それぞれに思いを込めた演出が用意されています。色々な節目においてその意味を考え、その先を思い描く、ないしは展望するための仕掛けだと思われま。

また亡くなった後でさえも、後の縁者によって何百回忌だとか、没後何十年、また生誕何百十年といった振り返りがなされることがよくあります。このような周年においては、生前の徳などを偲んだり、後まで続く功績を讃えたり、はたまた

その時点での再評価をするといった点に意味があるのだと思います。

博物館とか史跡といった無生物にも、人の場合と同じようなアニバーサリーやメモリアルが必要とされるようです。そうすることで、無生物にも貴い生命を想い、その成長を祝すという人の場合と相通じるものが存在しているからで、そうした思いを共有する多くの人々の間で、共にそれを謳歌することに意義があるのではないのでしょうか。このように考え、無生物の場合でさえ一年々々と着実に年輪を重ね、一定の節目には盛大な祝いをもつこと、それが周年の重要な意義だと思うのです。

今回のこの随想の題名に「続」の文字があるのは、既にお気づきかもしれませんが前々号に「周年雑感」の短文を載せていることを受けているものですが、前々号では特に「甲府開府500年」に重きを置いておりました。500年はすごいですよね。でもその数字を遙かにしのぐものがあるのです、近いところに。

それは「湯之奥」の地名を生んだ温泉の歴史にありました。建治4（1278）年といえますから来年に740周年ですが、わが下部温泉が歴史に登場する最初、日蓮さんの故事に繋がるものです。このことはいずれの機会に詳しく踏み込んでみたいと思います。

そこまで大きな数字ではないですが、やはり来年に、生誕300年を迎えるのが、木喰さんです。木喰は享保3（1781）年に、わが身延町の北川地区、当時（江戸後期）には古関村のうちの字、丸畑の伊藤家に生を受け、長じて生地を出奔し、全国を行脚、数多くの独特な木彫像を残しています。この木喰さんについても追って向き合いお話をしたいと思います。

さて次は150年ですが・・・、何についてだと

思われますか。

きっといろいろあるでしょうけれど、今ここで話題にしたいのは、「明治150年」の事です。ご存知のように慶応4（1868）年9月8日（旧暦）に改元の詔書が出され、慶応4年1月1日をもって明治元年1月1日とする（いずれも旧暦）遡りの改元となったわけで、“御維新”がかなった瞬間です。その明治元年から来年で150年、ということなのです。

近頃目にした政府の関係資料には、「明治以降の歩みを次世代に遺す」「明治の精神に学び、更に飛躍する国へ」を基本の眼目とし、それぞれのテーマに沿って全国的に具体的な施策を展開させるという方針が出されていることが確認されました。わが館の場合、何かあるかしら・・・。

以上、周年のことを色々と道草を食うかのよう

う盛り上げていくか、です。

今号の『博物館だより』の中に、そうした情報がギュッと詰め込まれており、各ページを見ていただくと詳細な情報をご確認いただけますので、ぜひ20周年の湯之奥金山博物館に足をお運びをくださるようお願い申し上げます。

だめ押し的に1つ。「夏休み自由研究プロジェクト（略称：夏プロ）in湯之奥金山博物館」をお勧めします。

夏プロ自体は、山梨県立博物館を中心に据えたハブ博物館構想の具体的な取り組みの1つで、当館初代館長の谷口一夫先生の発案です。この夏は、それにちょっとだけ新鮮エキスをふりかけてみたいと思います。金山博物館をベースに、金山のこと、それ以外の色々なテーマについて、どう調べたらよいか、館長を中心にいっしょに考え、研究していこうというものです。これについてもご来館、ご参加をよろしくお願いたします。

出月洋文館長に相談しよう！！ 夏休み自由研究プロジェクト in 金山博物館

いよいよ迫ってきた夏休み。夏休みと言えば大きな悩みは自由研究。金山博物館では、化学実験教室や、こども金山探険隊、砂金掘り大会など、自由研究素材として最適な夏休みプログラムを用意していますが、「違う視点での自由研究に取り組みたい！」というお友達も多いはず。

ということで、出月館長による“夏休み自由研究相談コーナー”開催決定！

自由研究にどんな風にアプローチして、どうやって解決していくかという出月館長による学習相談室です。取り組み方のヒントや、題材について館長と一緒に考え、研究していこうというもの。夏休み期間中、館長在館中は次の時間帯で随時開催しています。入口のボードに「自由研究相談コーナー開催中！」という案内が出ている時は、遠慮なくスタッフに声がけてね。

開催日：2017年7月15日(土)～8月27日(日)

館長在館中 午前10:30～12:30／午後3:00～4:30

夏休みの宿題・自由研究のヒントをお手伝いを目的とした、恒例イベント「夏休み自由研究プロジェクト」。今年も7月16日（月・祝）の海の日に開催。県内の博物館美術館が施設PRを兼ねて甲府・アイメッセに集結。金山博物館もおなじみ“出張砂金採り”で参加します。

活動報告

20周年記念講演第1弾 館長 編

4月23日(日)

4月24日の開館記念日に先立って、23日(日)に当館館長・出月洋文による基調講演を開催し、県内外から40名近くの方々にご来場くださいました。

博物館の開館に至るまでの経緯や、谷口前館長が積み重ねてきた業績も紹介しつつ、中山金山が国指定史跡に登録されるまでの経緯や、これまでの調査研究の現状、そして金山博物館館長に就任してから間もなく、中山・茅小屋金山の調査に立て続けに同行された際の調査結果と成果をお話されました。



それらを踏まえて今後、当博物館が果たしていくべき役割、そして目標としているものは何なのか、など穏やかな口調で約1時間にわたって講演されました。ご聴講くださった皆様には出月館長の静かなる情熱が伝わったのではないのでしょうか。

講演会終了後は館長による解説付きで2階の博物館展示観覧を行い、この日からGW期間限定で展示した世界の金貨も合わせてご紹介させていただきました。このコーナーでは、横浜市在住の吉田明弘様のご協力のもと、明治政府が発行した20円金貨や1円金貨など珍しい日本金貨も複数登場。また吉田様よりご寄託いただいた「金の寛永通宝」もこの日に初お披露目、現在常設展示として公開中です。



奥山コレクションケースの一角に特別スペースを設けて展示された、特別公開金貨展示。珍しい日本金貨が並んだ。

20周年記念講演第2弾 萩原三雄先生 編

6月10日(土)



6月10日(土)、開館20周年記念講演第2弾として、4月の出月館長講演に続き、帝京大学文化財研究所所長・山梨県立考古博物館館長でもあります萩原三雄先生にご講演いただきました。萩原先生は、湯之奥金山総合調査時にも副団長

として谷口前館長と調査を進めてくださっており、また当館運営委員長もお務めいただくなど、当館に非常に縁の深い先生です。

そんな萩原先生がお話されたテーマは「鉾山史研究の現状と課題—鉾山白と金精錬技術を中心に—」。甲斐金山や鉾山白、灰吹き法など研究成果と興味深い見解を次々と発表されている萩原先生のお話を聞こうと、この日も、一番遠くは岩手県から、県内外から約40名の方が会場に足を運んでくださいました。タイトルどおり、鉾山白研究の現状について、現在どのような形態分類がなされ、これからどのような研究と作業が必要かという課題についてもご講演くださいました。

皆様のおかげで続々リニューアル中！ありがとうございます！

「日本砂金地図」進化中！（協力：博物館応援団Au会・砂金掘り友の会）

今年の博物館は「開館20周年」の節目を迎えるにあたり、いろんな事にチャレンジ、そして着手しています。開館記念日に合わせて、常設展示もプチリニューアルしていますが、お気づきになりましたか？

博物館応援団Au会を中心にご寄贈いただいた各地の砂金を展示した「日本列島砂金地図」。こちらも4月に装い新たに公開いたしましたところ、見やすく、わかりやすくなったとご好評をいただいております。さらに展示をご覧くださった皆様が気に掛けて情報を広げてくれているので、また少しずつ珍しい産地の砂金や浜砂金、海外の砂金などもご寄贈いただき、少しずつ資料がバージョンアップしています。

まさに“進化する展示”ですが、この「日本砂金地図」のスタートは、それこそ開館したばかりの頃、「本当に砂金が川で採れるのか？」という学芸員自身の疑問からスタートしました。当時はまだ学問的な所まで高めるといような意識があったわけではなく、「本当に採れるかどうか」という興味だけで、それじゃああの川、この川

と試してみたものです。そんな頃、砂金が採れたと情報提供してくれた今の応援団古参の方々がご来館くださるようになりました。以来、砂金資料を寄贈くださる事も増え、企画展などで特別公開してきました。しかし、資料は「しまっておくものではなく見てもらうもの」という方針と、ご寄贈くださった皆様のご厚意に報いるべく、常設展示に移すことにしたのが今から3～4年ほど前。そこからいろんな展示の仕方を試行錯誤の結果、限られたスペースを有効活用しながら、より多くの資料を並べることが出来る方法と、ようやくたどり着いた展示形態なのです。皆様のご協力がなければ決してできあがらないこの展示。想いと努力がぎゅっと詰まった展示なのです。

“日本全国どの河川でも砂金が採れる”という前提とは言え、産地的に砂金採集が難しい都道府県も実際には多数有ります。鋭意、館でも採集努力を続け地図の完成形を目指して参りますので、改めて引き続きの皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

「金属インゴット触れる展示」エントランスコーナーで開催



現在エントランスにて「触れる展示」として各種金属のインゴットを設置。お子様のみならず、大人の方にも、実際に手に持って“同じ大きさ・形でも物質によって重さが違う”ということを手軽に実感していただき、改めて金が極めて重いという事実を理解してもらおう展示として、皆様に

大変ご好評いただいております。そしてこれは砂金採り体験室で実体験していただく「比重選鉱法」の原理でもあるのです。

展示されているのは、売店で販売している金文鎮をはじめ、錫、モリブデン、アルミニウムと全部で4種類のインゴットが。錫インゴットは地元・峡南高校の生徒たちが、博物館共催事業でもある「錫クラフト体験教室」開催に際して作製してくれたもの。モリブデン、アルミニウムインゴットについては、当館の子供たちへの教育学習として作製したいという展示趣旨をご理解くださった上、企業名は伏せることを条件に、各企業様からの特別作製して頂き実現したものです。ご多忙の中、快くご協力くださった企業の皆様に厚く御礼申し上げます。

遺跡現場確認調査状況報告

4月19日(水)

今年度に入っても茅小屋金山、中山金山ともに現地確認調査を行っています。年度が替わる前の3月中旬は前夜に季節外れの降雪となり足場の悪い中での踏査。4月は、晴れたものの茅小屋金山の中心テラスからさらに直登した1300m付近の未確認区域の踏査でした。未確認域の調査なので初確認箇所が多かったのですが、3月は場所の確認、4月は幾つかの巨大な窯跡と、茅小屋未調査域での鉦山臼の発見などがありました。この情報を元に、長年の課題である茅金山遺跡の採鉦域を確認につなげていきたいというのが一つ目の目的であり、また茅小屋・内山金山遺跡を国史跡追加指定につなげたいというのが館の大きな目標でもあります。



現場確認前、県担当者との綿密な打ち合わせ(左)。現場での測量の様子(右)



去る5月23日(火)、県事業「おもてなし森林景観創出事業」の要望箇所の現地確認として、毛無山登山道上の眺望景観をよくするため、伐採対象となる立ち木と現場状況を確認のため、手無山に入りました。これにより、中山金山遺

跡に向かう途中、眺望がよくなりほっと一息つけるポイントが増えることになりそうです。夏休みのこども金山探険隊の時には、周りの山々を見渡せるビューポイントが新たにご紹介できるかもしれません。

平成29年度 第1回 博物館運営委員会

6月10日(土)



午後に、萩原先生の記念講演を控えていたこの日の午前中、博物館の運営方針や活動を審議評価いただく29年度1回目の運営委員会が開催されました。博物館のシンクタンク的存在であり、運営と方針の水先案内ともいえる運営委員の任期は2年間。考古学研究者、町文化財審議委員、町知識経験者で構成され、平成29年・30年度の

運営委員として、新たに委嘱状を受け取っていただきました。

事務局の活動報告や運営状況報告に耳を傾けてくださっていた委員の皆様方からは、この日も、20年目を迎えた当館の目標や課題に際して、非常に参考になる活発な方針提言を数多く示していただきました。2回目の運営委員会は夏事業が終わって次年度の予算要求前の時期を予定していますが、ここで出た意見を反映させられる事業計画と報告ができるよう年間事業を組み立て実施し、皆様の期待に応えるべく、スタッフ一同決意を新たにしております。

夏の大イベント「第17回砂金掘り大会」参加者受付中!

今年こそ出場しましょう! 日本最大の砂金掘り大会

砂に混入した決められた数の砂金を、制限時間内に早く正確に落とさずパンニングできるか!? 現在、参加者募集中! 大人も子供もどなたでも、ドシドシお申し込みください。

- 期 日: 平成29年7月29日(土)
午前9:30~午後3:30
- 場 所: 湯之奥金山博物館専用駐車場
- 部 門: 男女一般部門(高校生以上)
ジュニア部門(小学生・中学生)
- 参加費: 大人(高校生以上)500円
小・中学生300円
- 定 員: 先着200人/7月27日(木)締切

- 日 程 ※雨天決行
- 9:30~ 受付
 - 10:00~ 開会式・トロフィー返還式
 - 10:20~ 競技説明・競技開始
(ジュニア部門・男女一般部門予選)
 - 12:30~ 男女一般部門本戦
 - 13:00~ 頂上決戦
 - 13:30~ ミニゲーム/マイパンニング皿部門
 - 15:00~ 表彰式

第14回東西中高交流砂金掘り大会

砂金掘りNo.1校を決める「砂金掘り甲子園」ここに開幕! 灘・開成ら有名校の生徒たちが、ここ身延に砂金掘りのために集結します。見ているだけでも面白い! 母校の看板を背負って、パンニング皿を振る生徒たちに、皆様の熱い声援をよろしくお願いします!

- 期 日: 平成29年7月30日(日)
午前10時~午後1時
(於湯之奥金山博物館専用駐車場)

■出場校(全8校)

- ◇2016年優勝校: 大妻中学高等学校(東京)
- ◇2016年準優勝: 灘中高(兵庫) ◇桐朋学園(東京) ◇開成学園(東京) ◇麻布学園(東京) ◇山梨学院中・高(山梨) ◇駿台甲府中学校(山梨) ◇峡南高校(身延町)



大会当日は体験室もこんな感じ。猛者も初心者も入り乱れての大混戦。練習だって熱が入る!

第9回化学実験教室、第17回こども金山探検隊は好評につき、定員満員御礼となり、申し込み受付を終了しております。お申し込みくださった皆様、ありがとうございます。ご参加される皆様は準備万端整えて、当日を楽しみにしててください。

※すべての事業は事前申し込みが必要です。また、申し込まれた方でやむなくキャンセルされる方は、お待ちの方にお譲りしますので、必ず博物館までご一報ください。

参加・ボランティアなどすべてのお申込み・お問い合わせは湯之奥金山博物館

TEL. **0556-36-0015** FAX. **0556-36-0003** まで

ゴールドフェスタ2017 に今年も参加します!

今号の発刊と前後しますが、6月24日(土)、東京・よみうり大手町ホールにて開催されるゴールドフェスティバル2017に今年も参加いたします。会場では金にまつわる展示・販売や各企業による様々な趣向を凝らした出展ブースをご覧いただけます。

GET! 砂白金(プラチナ)! 企画は9月末日まで

大好評の期間限定20周年企画。多くの方がプラチナを求めておいでくださっています。プラチナ採り未経験というあなた! 今年の夏休みは砂金&プラチナ採り体験で決まり! お待ちしております。

館からお知らせ

9月10日(日)～16日(土)は町民感謝ウィーク!

上記9月の7日間、開館記念“町民感謝WEEK”として、期間中1人1回限り、身延町民の方は展示観覧・砂金採り体験を無料とさせていただきます。また9月13日(水)は本来休館日のところ3町合併記念日として臨時開館いたします。(ご来館の際は身延町民”であることを証明できるものをお持ちください。詳細は後日HPにも掲載)「身延町民だけど実は一度も博物館に来たことがない」という方、この機会にお立ち寄りください。もちろん通常開館いたしておりますので、一般の方々もいつもの通り、ご来館ください。いずれのお客様もスタッフ一同心よりお待ちしております。

『ゆるきゃらグランプリ2017』 エントリー! 8月1日からの投票 よろしくなんだもーん♡

20年間、そのつぶらな瞳で博物館を見つめ続けてきたもーん父さん。今年も『ゆるキャラグランプリ2017』にエントリー＆参加します。今年も応援よろしく願いいたします。

会場：三重県・ナガシマリゾート
開催日：11月18日(土)～19日(日)



夏休み自由研究プロジェクト in 金山博物館

開催期間：2017年7月15日(土)～8月27日(日)
出月館長在館中
午前10:30～12:30
午後3:00～4:30 詳細本紙3ページ参照

編集後記

20周年という大きな節目を迎えることが出来たのは、日頃からご支援・ご協力くださる皆様のおかげです。5年先、10年先を見据えた博物館活動を心がけて参ります。桜・新緑・梅雨とあつという間に季節は過ぎ夏本番間近。夏の4大イベントも、アニバーサリーイヤー感を出せるような企画で準備を進めております。200名の定員を誇る「砂金掘り大会」はまだまだ参加者受付中!そして、夏イベントのボランティアスタッフも同時に募集中。お手伝いして下さる方、博物館までご一報ください。この夏も一緒に大いに盛り上がりましょう!熱中しすぎて熱中症にならないように、水分補給は忘れなく。

博物館だより

第80号 平成29年6月26日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先
TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003
博物館HPアドレス <https://www.town.minobu.lg.jp/kinzan/>
博物館Eメール yunoking@town.minobu.lg.jp もーん父さん

